伊勢原市学校給食費に関する条例案のパブリックコメントの実施結果について

１　パブリックコメントの概要について

（１）意見募集期間

令和６年５月１日（水）～令和６年５月３１日（金）

（２）周知方法

広報いせはら５月１日号、市ホームページ、

（３）閲覧場所

学校教育課窓口、市役所１階ロビー、図書館、いせはら市民活動サポートセンター、 市内各公民館、市ホームページ

（４）提出意見数

９８件

２　意見の要旨及び市の考え方について

（１）対応区分

区　分	対応区分	件　数
A	御意見を踏まえ、計画案に反映するもの	０件
B	御意見の趣旨が既に計画案に反映されているもの	６３件
C	今後の施策や事業の参考とするもの	２件
D	御意見として承ったもの	３３件

（２）意見の要旨及び市の考え方

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
1	教師の負担はなるべく軽減し、教育に力が入るようにしてほしい。	B	●賛同意見として承ります。 ●本取組がより効果的・効率的なものとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。
2	ぜひ公会計化で職員の軽減負担を！	B	
3	教職員と保護者の負担軽減のために、公会計化は必要だと思います。	B	
4	教員の負担減につながる取り組みなので良いと思います。	B	
5	教員の負担軽減で良いと思う	B	
6	教員の働き方改革で必要だと思います。	B	
7	長年、小学校で給食会計を担当していました。仕事の内容が大変煩雑で大きな負担となっておりました。担当者はもちろん、すべての担任も毎月給食会計名簿を整備し、転入や転出があるたびに書類を作成したり、銀行に足を運んだりする必要がありました。また、未納の家庭に度重ねて連絡するのも心苦しいものでした。公会計化されたことにより大きな業務負担軽減となり、とてもありがたく思っています。伊勢原市でも同じような取り組みが進むと聞き、とても良かったと思います。教職員の働き方改革のため、少しでも子どもたちに関わる時間と気持ちの余裕が生まれますよう、伊勢原市でも公会計化を進めていただけたらと思います。	B	
8	教員の負担軽減のため、集金業務についての公会計が望ましい。	B	
9	秦野でも昨年から給食費が市の管轄になりました。教員の働き方改革の1つになります。是非取り組んでほしいです。	B	
１０	公会計化については、現場教職員の負担減に大きく資するものと認識しています。このような制度が導入されることを大変うれしく思います。ありがとうございます。伊勢原市の給食、とりわけ小学校給食においては、自校給食であることにより、給食そのもののおいしさ温かさを感じることができ、さらには食育の面でも大きな効果を発揮しています。今回の公会計化により、物資の調達先や献立が統一されても、自校給食の強みをいかした学校給食と、それによる食育のさらなる推進は伊勢原に欠かせません。今後も、栄養教職員や会計担当の職員をはじめとした現場教職員の負担減につながるシステムや制度が実現されることを期待しています。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
１１	パブリックコメントの方が取り組みやすいです。	B	同上
１２	未納者の徴収のやりとりをするのは、保護者との関係構築の上でとてもふたんが大きいので、心理的に安心できる。	B	
１３	教職員の多忙化のなか、負担軽減のため口座にすべきだと思います。	B	
１４	保護者に給食費の請求をすることはかなりの負担です。普段の学級経営がうまくいっていても、取り立てに行った際に保護者に強く言われ、そこから関係が悪くなった経験があります。教員の仕事の軽減化にもつながる思っていますので、是非よろしくお願いします。	B	
１５	教職員の負担軽減にとてもよい。会計、未納の家庭への対応はとても大変である。保護者として集金の小銭の用意は負担である。	B	
１６	ぜひお願いしたいです。学校現場は本来子どもたちを教育する場所です。 何とぞ宜しくお願いします。	B	
１７	教員が集金業務を行わなくて良いので、かなりの業務負担軽減が期待できる	B	
１８	給食費はもちろん他の学校徴収金の公会計化もすすめて、学校が現金を扱わなくてもいいようにしていただきたいです。	B	
１９	教員が集金業務を行わなくてよいので、かなりの業務負担軽減が期待できる。	B	
２０	市が主だって行っていただけることで、学校職員の負担も減ると思います。	B	
２１	教員の負担軽減につながっているのでとてもよい。未納者がいても保護者に直接連絡をしなくてよいので心理的にも安心できる。	B	
２２	教員の負担の軽減や未納の家庭の保護者とのやりとりがなくなり円滑な関係が築けるなど、とてもよいことかと思います。学校徴収金の公会計化と併せて進めていっていただけたらと思います。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
２３	学校で給食費の引き落としができなかったとき、生徒が学校に引き落とせなかった給食費を持っていきます。その時に給食費がなくなる危険を回避できるのでいいと思います。	B	同上
２４	教職員の負担軽減とのことですが、教職員の中には教員だけでなく事務職員も含まれると思うので、新たな負担増にならないよう、御配慮いただけたらと思います。	B	
２５	働き方改革を進める上で、有意義だと思う。	B	
２６	教員が集金業務を行わなくてよいので、かなりの業務負担軽減が期待できます。	B	
２７	教員の負担が減ることにつながるのでとてもいい。	B	
２８	教員の負担減に繋がっていることはとてもいい。給食費の未納者がいても、保護者に直接連絡をしなくてよいので、心理的にも安心できる。	B	
２９	働き方改革を進めていく上で、有意義だとおもう。少しでも教員の仕事を減らしてほしいと思う	B	
３０	教員の集金業務は、ただでさえ仕事が多いところに、お金を扱うということで、精神的にもかなり負担が大きいと思う。公会計化を進めていただきたい。	B	
３１	給食会計を担当した経験がありますが、自分の仕事よりも会計の仕事ばかりをやらなくてはならず、教員の仕事ではないと感じていました。100件の家庭にお便りを出して、集金できない時には電話で何度も連絡し、本当に大変でした。　市の仕事にぜひしてください。	B	
３２	特にありません。	B	
３３	教員の働き方改革を進めていくうえで、集金作業を減らすことはとても有意義だと思います。保護者としても、給食費の公会計化は、ありがたいです。	B	
３４	学校がお金を触らないでいいので、ミスが少ないと考えられ、よいと思います。	B	
３５	いいと思います。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
３６	教職員にとっては優しい配慮だと思います。よいと思います。	B	同上
３７	教職員の負担が減ること、多忙な業務の中で業務の減少に繋がるため賛同します。	B	
３８	教員の大きな負担である集金、市町村の引き落としにすることで、子どもの方に力をそそげる。集金作業や、教室を留守にして、職員室での確認、提出する、未払いの家庭への何度にもわたる問い合わせや家庭訪問、事務手続きなどなど本当に大変である。秦野市のように他の市町村もそうするべきだ。	B	
３９	働き方改革を推進していく上で、とても有意義だと思います。増える一方で中々減らない教員の仕事を、少しでも減らしていってほしいです。	B	
４０	教員の仕事が1つでも1分でも少なくなって行くのであれば積極的に取り入れた方が良い。また、教員がお金を管理すると紛失等の可能性もありますので市の管轄にして頂きたいです。（神奈川県全域で）	B	
４１	教員の負担軽減のために良いのではないかと思います。そういうことを減らすための活動はすべきだと思います。	B	
４２	働き方改革につながっていると思う。事務系の仕事が少しでも減って欲しいと思っている。	B	
４３	教員の負担減に繋がってほしい。給食費の未納者がいても、保護者に直接連絡しなくてすむので、心理的に安心できる。	B	
４４	教員の「働き方改革」は急務です。当初、給食が導入される際には「教職員の負担は一切増やさない」ということを聞いていましたが、案の定負担は増える一方です。少しでも教員の負担を減らす上でも賛成です。	B	
４５	教員が集金業務を行わなくても良いので、かなりの業務負担軽減につながるし、直接保護者とのやり取りがないので心理的にも安心ではないかと思う。	B	
４６	未納者の現金徴収や返金等の対応もなくなるので、教員の業務削減と同時にリスクも減少する。	B	
４７	教員の仕事が減るので、働き方改革の視点でも良いと思います。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
４８	公会計によって、保護者や学校双方の手間が少なくなるのであれば、良いと思う。	B	同上
４９	教員がお金を集め、手間がかかり、ましてや何かあれば責任を問われ、児童生徒と向き合う時間が減る現状は、現在今後の教育活動の質を下げるものと思います。児童生徒のためにも、ぜひ公会計にしていただきたいと思います。	B	
５０	保護者と学校ではなく、市が間に入ることで、保護者と学校のやり取りで発生する関係悪化が減らせると思うので、ぜひ進めていってほしいです。	B	
５１	是非、公会計化するべきです。給食費未納家庭に対して、教員が対応するのは、教員の本来の仕事ではないと思います。本来の仕事は子どもと向き合い、授業をすることです。より良い授業にしていくための時間を、給食費回収のために使うのはおかしいと考えます。	B	
５２	秦野市は数年前に公会計化し、教員の業務負担という意味では大きく軽減されたように思います。学校現場はその他にもまだまだ、多忙を極め、業務軽減すべきもの、軽減できるものがたくさんあります。市や、県が推し進める形で様々な業務改善に向けた取り組みを進めていっていただきたいと思います。そうでないと、未来の子どもたちを育む学校現場の課題はたまっていく一方で、教員の成り手不足や、教職離れ、療養休暇、育児　休暇、産休代替の不足 なども埋められず、現場はますます疲弊していってしまいます。給食会計のみならず、様々な業務改善に向けた取り組みの実施を切に願っています。	B	
５３	集金業務を行わなくて済むのは、働き方改革として、かなりの業務負担が減らせるので、とても良いと思います。	B	
５４	学校の負担が減るように、市が担ってくれるようになってほしい。	B	
５５	働き方改革の一貫として、概ね賛成します。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
① 賛同意見（６１件：Ｎｏ１～Ｎｏ６１）			
５６	先生方や事務職員の皆さんの負担軽減につながると思います。 給食費未納者への対応は、先生と保護者の関係を壊しかねないので、心理的にも安心できると思います。	B	同上
５７	公会計化について、学校、保護者、ともに負担軽減に繋がるとおもいます。 一方、口座開設に向けて、書類の作成の負担が考えられます。スクールサポートスタッフは、事務のどの業務までが可能か、もし、事務作業も担うことができれば、さらなる負担軽減になると考えます。スクールサポートスタッフの柔軟な運用も視野に入れていただけると嬉しいです。	B	
５８	・公会計にしてもらうと教職員の負担が減るため、より充実した学校に労力を当ててもらえそうで良い。 ・家庭の事情などで支払いが滞っている場合に、子どもを通して未払い書類のやりとりをしなくてすむため、当該児童・生徒が、お金に関して嫌な気持ちにならなくて済むため良い。 ・学校単位での会計処理ではないので、欠食手続きなどの期限が、よりシビアなものにならないか心配である。	B	
５９	少しでも教職員の仕事を減らしてほしい。	B	
６０	教員の負担が減るのなら公会計にするべきだと思います。 子供が入学前に指定された口座を開設するため、仕事を休み手続きをするのは負担でした。教員も保護者も両方の負担が減るような条例を考えていきたいです。	B	
６１	教員の大きな業務負担につながる取り組みになると思います。 お金の不祥事が絶えない中、教員の信頼関係にも響いてくる部分と捉えることもできます。	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
② 公会計に伴う教職員等の事務負担を懸念する意見（２２件：Ｎｏ６２～Ｎｏ８３）			
６２	働き方改革につながれば非常に良い取り組みであると思う。 しかし、栄養教職員や事務職員に負担がいくのであれば、働き方改革ではない。 また、学校徴収金も公会計化されるならとても良いと思うが、教材費や調理実習は買う買わない等あるので支払い者の把握が難しいと考えられる。 そこで、スクールサポートスタッフ等の方々が大事になってくる。 スクールサポートスタッフがどこまでできるのかも検討が必要。	C	●伊勢原市では、教職員の負担軽減のため「教員の働き方改革に向けた取組の基本方針」を定め、教職員が担うべき業務に専念できる職場環境づくりについて様々な施策を重層的に取り組んでいます。 ●スクールサポートスタッフの増員等、可能な限り学校の負担を軽減できるよう、体制の整備も含め検討をしてまいります。 ●学校給食費を公会計化した場合は、学校給食費は市の歳入として取り扱われ、法令に基づいて適切に徴収されることになります。 ●未納者への督促等については、地方自治法に基づく債権の取扱いに関する規定に従って、適切に対応することが可能になります。 ●徴収の方法としては、口座振替、納付書払い、キャッシュレス決裁等の多様な決済手段の導入を検討をしてまいります。
６３	教員の負担減に繋がっていることはとてもいいと思います。給食費の未納者がいても、保護者の方に直接連絡をしなくてよいので、心理的負担も軽減できると思います。ただ、市とのやりとりなど、栄養教職員や事務職員の負担が大きくならないか懸念されるので、そのようにならないように制度設計をしてほしいと思います。	D	
６４	給食費の未納者への連絡については、生徒を介して行いづらく、保護者に直接連絡をしなくてよくなるので、本務である授業や教材研究の本務にあたる時間が増える。 給食費の会計については、必ずしも教職員が行うことではないと思っているので、公会計化に期待している。現金徴収を含む会計業務については、職務である「教育をつかさどる」に当てはまらないと考えている。 未納者の現金徴収や、返金等の対応もしなくてよくなるので教員の現金の取扱いが減り、リスク管理がより行える。 保護者としても、口座を新設する場合は、いつも使っている口座ではないため、今までの経験上、入金忘れが起こることが多い。 公会計化になると保護者も良いと思う。 栄養教職員や事務職員等の負担が大きくならないか懸念している。 中教審の特別部会でもあったように、その他の学校徴収金の公会計化もすすめて、指導に集中できる環境の提供をお願いしたい。学校教育法における、教諭の職務は「教育をつかさどる」となっている。伊勢原市の教職員は、熱心な方が多く、自分や家族を犠牲にしながら、日々教育活動を行っている。伊勢原や日本の未来を支えていく子どもたちの、よりゆたかな学びをこれからも続けていくために、教職員のより良い働き方になるよう、お願いします。	D	
６５	教職員の立場からするととてもいい制度だと思うが、教員だけが得をして誰かの働き方改革が減速しないよう配慮できたらより良いと思う	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
② 公会計に伴う教職員等の事務負担を懸念する意見（２２件：Ｎｏ６２～Ｎｏ８３）			
６６	教員にとって未納者への案内や現金徴収などがなくなること、保護者にとっても口座開設の必要がなくなること、どちらも負担が減ると思う。ただ、そこに栄養教諭、事務職員など、誰かに結局負担がいくようなことになるなら賛成し切れない。	D	同上
６７	教員の負担を減らすためにも、給食費の公会計化を実施すべきだと考えます。隣町の秦野市では既に市が給食費を管理しています。私自身も学校給食費の担当をしたことがあります。個人情報を取り扱う分神経を使いますし、銀行と連携して行う必要もあり、事務仕事がとても大変でした。音沙汰がないため、家庭訪問をして直接徴収することになったケースもありました。そのような仕事は、児童を指導する教員が行うべき仕事ではないと思います。市の方で事務員を配置し、取り組んでいく方がよいと思います。	D	
６８	教員が集金業務を行うことは、時間的にも精神的にも大変負担であるので、学校以外が会計作業を担うことには賛成です。一方 で、栄養教諭や学校事務職員が担う仕事の負担が増えることや、地域とのつながり、家庭科と連携した献立など、自由度が減ることになるとしたら、これまでの学校給食のよさが失われかねないため、慎重に課題を検討してほしいです。	D	
６９	給食費の私会計管理を利便性の面で教員の負担軽減を考えてくださることはとても助かるが、学校の栄養教諭や学校事務がその業務を負担することがないようにしてもらいたい。	D	
７０	市立学校の会計を一括管理することは業務の円滑化になるかと思いますが、適正に人員を配置しないと構造に歪みが出てどこかに負担が集中する恐れがあります。また、市と各学校とのやりとりが増え、かえって時間がとられることも考えられます。良い試みだとは思いますが、システムが安定するまでトラブルは付き物かと思います。その都度、改善し市も学校も保護者も良い方策を練っていただければと思います。	D	
７１	給食費用の公会計化希望です。 ただし、学校事務や栄養士に負担がいかないことを望みます。よろしくお願いします。	D	
７２	業務の負担が減ることはありがたいです。ただ、栄養士の先生や事務、市役所の方など、どこかにしわ寄せが来てしまうやり方ではなく、全体的に業務軽減になるようにお願いしたいです。	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
② 公会計に伴う教職員等の事務負担を懸念する意見（２２件：Ｎｏ６２～Ｎｏ８３）			
７３	公会計化を推し進めてほしい。懸念点として、市とのやりとりの負担がどのくらいかわからないという点はある。	D	同上
７４	私も給食会計の担当を一通りやりましたが、本来の教員の仕事とかけ離れていると感じました。伝票を書いたり、保護者に支払いの催促をしたり、農協に書類を時間外で届けたり、授業の合間を縫って多くの時間をさいてきました。 専属の事務の人をおくのが一番良いと感じました。	D	
７５	公会計化することで教員の負担減につながるのは良いこと。集金、未納者への督促等なくなるのは、心理的にも軽くなる。 一方で、市への連絡業務等で、一定の職員に負担増になるのではないか。栄養士、事務員に負担が増えるのは望ましくない。働き方改革として、どの職員にも負担が減るようにしていただきたい。また、自校給食の良さは残してほしい。	D	
７６	働き方改革を推進していくための一つの方策として、給食費の公会計化は教職員の負担軽減につながることが期待できると思います。しかしながら、市との事務的な窓口となる事務職員や栄養教職員に何かしらの負担がかかってしまうのであれば、学校全体を考えたときに負担軽減になるのか懸念されます。ぜひとも事務職員や栄養教職員の意見を踏まえた制度設計になるようお願いします。制度設計をしていく際は、現場の事務職員や栄養教職員の声を直接届けられる機会を設けていただきたいです。 給食費の公会計化に併せて、教材費等の学校徴収金の公会計化についても検討していただきたいです。しかし、教材費等の学校徴収金の公会計化については、先行事例が少ないため、本当に教職員の負担軽減につながるのか不透明な部分があります。場合によっては、全校一斉ではなく少数の学校で先行実施という形でスタートしてもよいのではないかと思います。また給食費の公会計化と同様に、市との事務的な窓口となる事務職員に過度の負担がかかってしまうことが予想されます。制度設計をしていく際は、現場の事務職員の意見を踏まえるようお願いします。重ねて、教材費等の学校徴収金に関しては最近話題となっている「スクペイ」というアプリを利用することも選択肢として考えられます。公会計化ではありませんが、ホームページなどを見ると、学校現場の実態に合った内容だと思います。 教育委員会と学校現場が連携しながら、教職員の働き方改革を推進し、伊勢原市の子どもたちへの教育がより充実したものになるようご協力よろしくお願いします。	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
② 公会計に伴う教職員等の事務負担を懸念する意見（２２件：Ｎｏ６２～Ｎｏ８３）			
７７	教員の業務軽減につながるためとてもよいと思うが、市とのやり取りのために栄養教職員や事務職員に負担が増えないか心配である。 また、給食費未納者が払込用紙でのやり取りになると聞いて、顔の見えないやり取りになる為、未納者が増えることが想定される。市の財政への負担も心配である。 また、自校給食の良さを生かして、各校で工夫を凝らした献立や、地域の農家の方が届けてくれていた食材を使った物がなくなってしまうのは残念である。工夫を加えられるようにしてほしい。 併せて、教材費などの学校徴収金も公開化して、学校が現金を扱わなくてもよいようにして、教員の働き方改革をより推進していってほしいと思う。	D	同上
７８	公会計は賛成。事務的なことが、学校負担にならないようにして欲しい	D	
７９	学校の事務職員や栄養教諭の負担がなるべくかからないような方法で実施していただきたい。	D	
８０	公会計化について、概ね賛成ではありますが、教職員や事務職員の負担にならないよう十分な配慮は必要かと思います。宜しくお願い致します。	D	
８１	未納者の現金徴収や、返金等の対応もしなくてよくなるので教員の金銭作業が減り、業務削減と同時にリスクも減少すると思います。ただし，市とのやりとりなど、栄養教職員や事務職員の負担が大きくならないか懸念しています。	D	
８２	職員の負担が今までと変わらないようにしてほしいです。むしろすべての人の普段が減るようにしてください。	D	
８３	なるべく、今までと仕事内容が変わらないようにしてほしい。１つのところに仕事が集中してしまうのは避けてほしい。	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
③ 地域食材の使用及び自校給食の強みを引き続き活かした学校給食の提供を望む意見（８件：Ｎｏ８４～Ｎｏ９１）			
８４	教職員が集金業務や返金等の対応を行わなくてよいので、かなりの業務負担軽減が期待できる。給食費の未納者がいても、保護者に直接連絡をしなくてよいので、心理的にも安心できる。 公会計化になるということは、これまで栄養教職員が行っていた食材の調達も市が行うようになるため、地域の農家の方が届けてくれていた食材が使われるよう、その辺の融通がある程度利くようにしてほしい。 また、学校徴収金の公会計化もすすめて、学校が現金を扱わなくてもいいようにしてもらいたい。	D	●公会計化により、これまで各学校等で処理されていた食材等の購入に関する業務も、市において一括して行うことが可能となり、学校給食業務の効率化に繋がるものと考えております。 ●伊勢原市では、市内共通の献立により給食を実施していますが、これまで各学校にあった裁量が少なくなることを懸念する意見があることは承知しており、自校給食の強みを引き続き活かせる運用を検討をしてまいります。 ●伊勢原市では、湘南農業協同組合や野菜生産者と協力して、学校給食地場野菜使用推進会議を組織し、地場産品の導入促進を図るとともに、子どもたちの食育推進の場として活用しております。公会計後も引き続きこうした取組を実施してまいります。
８５	教職員の業務内容を軽減する一つの手段として非常に有効なものだと考える。 事務的な仕事のみならず、未納者（保護者）への連絡や集金などは精神的にも重たいものとなるため、非常にありがたい。 反面、はじめてのとりくみとなり、導入初期は様々な課題が出てくることも想定される。その中で、効率優先で献立が制限されたり、地域の方の野菜が使用できなくなったりするなど、子どもたちの楽しみや食育指導上においてマイナス面が出ないことを大切に進めてほしいと思う。	D	
８６	・教職員の負担減に繋がり、とてもありがたいです。未納の方に連絡をとったり、子どもに未納の封筒を渡したりするのは心苦しかったです。 ・教職員の負担減につながる一方、先行している自治体の事例を栄養教職員の方に聞くと、「できるだけ安いところでの入札」が必須になるので、食材を選べないという課題も挙げられています。現場の様々な立場の方に話を聞き、より良い公会計化を実現して欲しいです。	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
③ 地域食材の使用及び自校給食の強みを引き続き活かした学校給食の提供を望む意見（８件：Ｎｏ８４～Ｎｏ９１）			
８７	学校給食費の公会計化は、学校現場だけでなく、家庭にとってもメリットが大きく、とても有意義な施策だと感じます。ぜひ進めていただきたいと思います。その上で、公会計化した他市町での課題として、 ・栄養教職員の負担が大きくなってしまい、重要な本務である食育に関する教育活動に携わる時間を減らさざるを得なくなった。 ・公会計化により財務会計ルールに従う必要が生じるため、これまでのような地元の農家や青果店とのつながりによって安全性や地産地消を考慮しながら効果的な食材を選定したり、各校で工夫を凝らした献立を実施することに制約が生じてしまった。 等が挙げられています。 これまで伊勢原市が実施してきた学校給食の良さを残しつつ、施策をすすめるためには、学校現場、とりわけ栄養教職員の意見や家庭の声を最大限尊重していただきたいと思います。 また、学校給食費の公会計化と合わせて、学校徴収金についても負担軽減策をご検討いただけると学校現場や家庭の負担がさらに減ると思います。公会計化も一つの方法ですが、例えば「スクペイ」のように、オンライン上で集金・支払い・帳簿作成等が可能になるシステムが開発されており、こういったシステムの導入を検討していただければと思います。県外ではすでに導入した自治体があり、大変好評とのことですし、県内でも導入を検討している自治体があるようです。（スクペイURL：https://sukupay.jp/）児童が現金を持ち歩かなくてよい点や、教職員の集金業務が減る分児童に向き合う時間や授業準備の時間が増えること、家庭では小銭の用意がいらずにスマホで決済が完結でき負担が減ること、等が期待できます。 学校給食の公会計化と合わせて、学校徴収金の負担軽減も行うことで、学校現場・家庭・児童にとって、より一層大きい効果が期待できると考えます。ぜひご検討いただきたいです。	D	同上
８８	伊勢原市は自校給食の良さを生かして、各校で工夫を凝らした献立ができている。 公会計化になったとしてもその良さをなくさないよう取り組んでほしい。	D	
８９	教員側の負担が少なくなるのは嬉しいが、学校ならではの献立が出来なくなってしまうのは残念な気がする。	D	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
③ 地域食材の使用及び自校給食の強みを引き続き活かした学校給食の提供を望む意見（８件：Ｎｏ８４～Ｎｏ９１）			
９０	公会計化には、賛成できる点も多いが、課題点も多い。食品の発注に関しては、現段階での公会計化だと、各地域の特色を生かした献立が作れなくなる可能性がある。これは子どもへの影響が大きい。子どもたちは、各地域での食材を使った献立を楽しみにしている。ぜひ、この課題は解決したのち、公会計化に踏み切ってほしい。	D	同上
９１	給食費を公金として徴収してくれると、学校の負担が減ってありがたい。しかし学校独自の食育として、メニューの工夫ができるよう、柔軟な徴収の仕方等の対応をしてほしい。また事務職員や栄養教諭の負担が増えないようにしてほしい	D	
④ 給食費の無償化を望む意見（１件：Ｎｏ９２）			
９２	隣の厚木市は今年度から小学校の給食支援がはじまり6年間給食費が無料になりました。同じく税金を納めているのに市によって対応が違うのは不公平だと感じてしまいます。 子どもの支援はどこのご家庭も必要としています。 このままでは若い家族は子育て支援が充実している市に転居してしまうと感じます。 給食費の管理を市で行い、子どものためにお金を使っていただきたいです。ぜひ検討をお願いします。	D	●学校給食費については、学校給食法において、調理員の人件費や調理に係る光熱水費等、施設の維持管理等の運営に要する経費は市の負担、食材費は保護者が負担することと規定されています。 ●学校給食費の保護者負担の在り方は、まずは国において検討すべき課題であると認識しており、当面は、学校給食法の規定に則り、児童の保護者に負担いただくことを基本として考えております。

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
⑤ 給食費の児童手当からの支給についての意見（１件：Ｎｏ９３）			
９３	給食無償化が理想です。周辺自治体に差を付けるチャンスだと思います。財源があればになります。無理なのであれば子供手当てからの相殺を提案します。 これまで支払う側としては教材費と給食費が違う口座で不便だったので１つに纏まると助かる。しかし、徴収する側が市になった場合、教材費を全校で統一するのは不可能。よって、教材費と給食費を１つに纏めるのは現実的ではない そこで子供手当てから相殺してはどうか ・受け取る側 子供が生まれた時、伊勢原市へ転入した時に手続きするので、別途振込先等の手続きをする必要がない ・支払う側 私立の小学校へ通う子供の把握が必要になるが、既に教育委員会かどこかで把握されているはずです ・子供手当ての収入限度額に達する家庭で不足が発生する可能性がある 現在の給食費が全校同じなのか？等詳細がわからないので何とも言えませんが 少なくとも、家庭や学校の手間は無くなり、市側も新たに口座登録等の作業をする手間は無いと思います。 以上。	C	●児童手当法では、受給者からの申出により、児童手当を給食費として市が直接徴収できることが規定されております。 ●ご提案の意見も踏まえ、本取組がより効果的・効率的なものとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。
⑥ 学校徴収金の公会計化を望む意見（２件：Ｎｏ９４～Ｎｏ９５）			
９４	教職員の集金業務や未納者の徴収などの負担減に繋がることでとてもよいと思う。 給食費だけでなく、他の学校徴収金の公会計化もすすめ、学校が現金を扱わなくてもいいようにしてもらえると、保護者も小銭を用意したり子どもにお金を持たせたりする必要がなくなり、学校生活でのトラブルの要因を減らすことに繋がることができると思う。	B	●給食費を公会計化するとともに、教職員の更なる負担軽減に向け、学校徴収金についても公会計化を取り組んでまいります。
９５	学校徴収金の公会計化もすすめて、学校が現金を扱わなくてもいいようにしてもらいたい	B	

No	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
⑦ その他（３件：Ｎｏ９６～Ｎｏ９８）			
９６	神奈川県全体で同じようにしてほしいです。	D	●近隣自治体（秦野市、平塚市、厚木市等）は、既に給食費の公会計化を導入しているものと承知しております。 ●近隣自治体の事例を参考に、本取組がより効果的・効率的なものとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。
９７	神奈川県全体でそうしていただきたいです。	D	
９８	神奈川県統一にしてほしいです。	D	

３　今後の予定（案）

令和６年　７月　　市議会全員協議会で学校給食費に関する条例案のパブリックコメント意見報告

令和６年　８月　　市議会９月定例会に学校給食費に関する条例案等を上程

令和６年１０月～　関連例規の整備、保護者周知

令和７年　４月　　条例、規則等の施行（公会計による管理の開始）